

LÚCIDO STYLE

コテパーマ基礎マニュアル

アイロンパーマはどんなん？

- アイロンパーマは、パーマ剤を使う通常のパーマに、更に熱による形状記憶を加えたホットパーマの一種で、ロッドよりも細い丸型アイロンや多角形アイロンを使って髪に熱を加えます。コテパーマと呼ばれることもあります。
- 使用するアイロンの太さによって、小～中くらいのカールやウェーブがかかった"クセ毛風"の自然なスタイルになります。ホットパーマの特徴を持っているため、パーマのかかりや保ちも良く、髪を乾燥させるとパーマの形状に戻るためセット・スタイリングも楽な髪型です。

特徴（見た目の印象、髪質感、仕上がり）

- ・ 細めのアイロンを使用するため、かなり短めのショートヘアにもかけることができます。もちろんミディアム～ロングヘアにも対応できます。また、毛先だけにカールをつけて動きを出すボリュームやハネを押さえるなどの部分的なパーマにも向いています。

【髪の質感、仕上りのイメージ】

丸型アイロンを使えば、くせ毛風の自然な仕上がりになります。多角形アイロンで角をつけながら細かいカールをつけるとパンチパーマ風の硬くハードな仕上がりにもできます。

【向いている髪質、髪の長さ】

細いアイロンを使えば2～3cmという短髪やショートヘアにもかけられます。毛先などの部分パーマにも向いていますが、髪の根元にはかけられません。基本的にどんな髪質でもかけられますが、痛みが酷すぎる髪にはかけられません。（かけてもブチブチと髪が切れてしまいます）

【髪の痛み・ダメージ】

髪の痛みは普通のコールドパーマと同じくらいです。最新の刺激の少ないパーマ剤を使えばアイロンの温度が低温でも施術できるため、髪の痛みを低減することができます。

【パーマの持ち、手入れ・スタイリング】

アイロンパーマは持ちの良いホットパーマの一種であるため、一般のパーマよりも長持ちします。髪のくせの強さ、美容師の技術、使用する薬剤によりますが、通常だと2～3ヶ月は持つでしょう。

形状記憶力が強いので、毎日の手入れ・セット・スタイリングは手間がかからず楽です。髪が乾くとパーマをかけた形状に戻ります。スタイリング剤はべたつきの弱いものを髪が乾いた状態で使用しましょう。

【施術時間と料金】

アイロンパーマをかけるのにかかる時間は概ね2時間前後です。値段は普通のパーマと同じくらいで相場は6～8,000円位です(カット別) 髪の長さによっても変わります。

各種パーマの特徴比較

おおまかな特徴比較です。実際はパーマごとの種類や、美容師の技術、サロンで使用するパーマ液の種類・量、塗付時間などによって結果に差が生じます。

	コールドパーマ	加温式パーマ	ホットパーマ	水パーマ	エアウェーブ
施術原理	パーマ剤	加温用パーマ剤	パーマ剤＋熱	パーマ剤＋水粒子	パーマ剤＋温風
かかりの強さ	普通	強い	とても強い	弱い	強い
保ち	普通	良い	とても良い	悪い	良い
髪のパサつき	普通～多い	やや少ない	普通～多い	少ない	やや少ない
仕上がりの質感	しっとり パサパサ 毛束感	しっとり 毛束感	硬めで 弾力性がある	ツヤがあり柔らか	ふんわり柔らか
向き・不向き	傷んだ髪には不向き	クセの強い髪でもOK	・強くしっかりしたウェーブやカールが作れる ・クセの強い髪でもOK ・傷んだ髪には不向き	・傷んだ髪でもOK ・キツめのパーマやクセの強い髪は不向き	・ボリュームの無いペタンとした髪向き ・キツめのパーマやクセの強い髪は不向き
パーマが強まる状態	濡れた時	濡れた時	乾燥時	濡れた時	特になし
施術時間	普通	短め	長め	短め	長め
値段 (コールドパーマとの比較)	普通 (5～8千円位)	コールドパーマよりやや高め	コールドパーマより高め (種類により1～2万円位)	コールドパーマと同じ位か、やや高め	コールドパーマより高め (1～2万円位)

アイロンパーマの施術手順

※おおまかなやり方・施術手順を示します。

- 整髪（カットやシャンプー）
- パーマ液 1 剤（還元剤）を塗布
- 1 剤が浸透したら、洗い流してドライヤーで髪を乾燥させる
- アイロンでカールやウェーブをつける
- かかり具合をチェック後パーマ液 2 剤（酸化剤）塗布し放置
- 2 剤を洗い流す
- トリートメントとスタイリング

薬剤の基準について

《 1 剤 》

バージン毛：

縮毛矯正剤(ハード系) 10分~15分

ミドルダメージ毛：

縮毛矯正剤(ライト系)もしくはコスメ系のクリーム剤 5分~10分

ハイダメージ毛：

酸性系のクリーム剤 3分~8分

《 2 剤 》

しっかりカール：加水系 2 剤 やわらかカール：ブロム酸系 2 剤

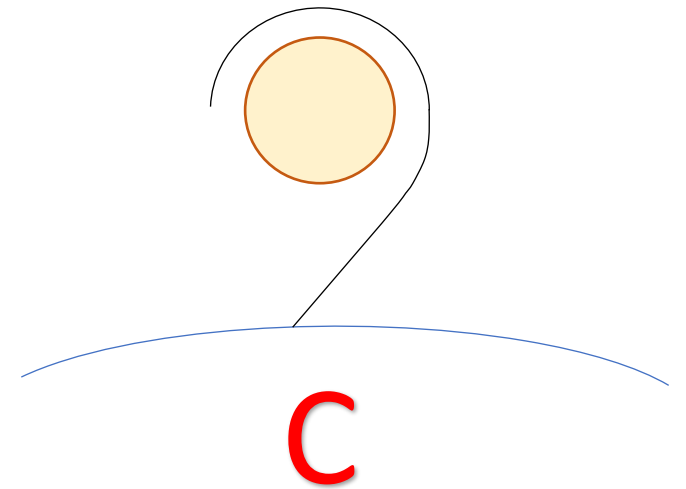
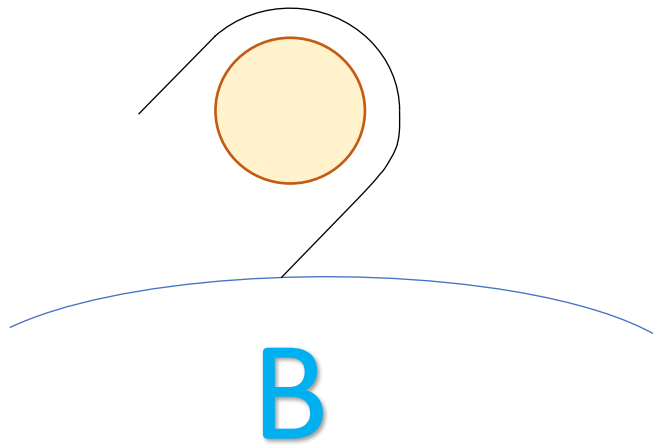
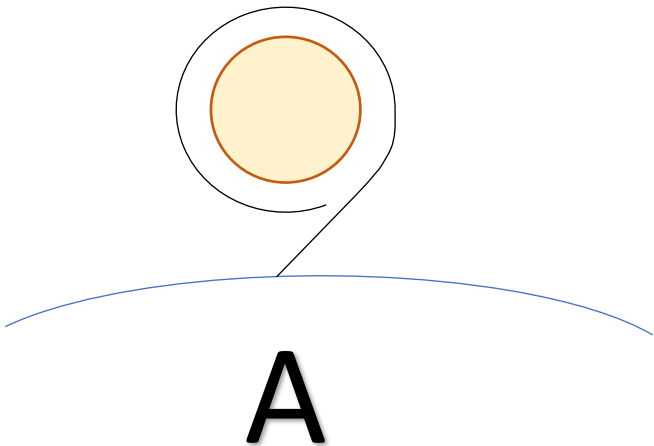
※あくまで基準になるので仕上がりや髪の状態で判断してください！

アイロンの巻き方基本パターン

A : 先巻き(このパターンがスタンダードな巻き方になります。)

B : 中間巻き(ナチュラルにカールを付けるときの巻き方に)

C : ハーフ先巻き (ぼかしなどの時に使う巻き方)

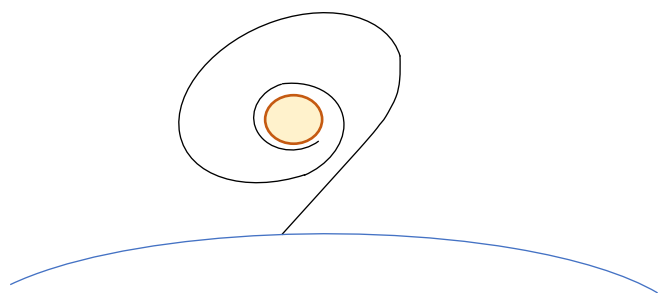


アイロンの巻き方応用パターン

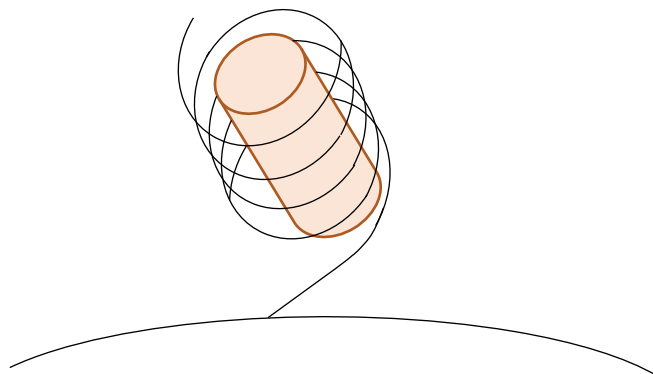
強カール(しっかりカールを出したい方※かなり強いです)

スパイラル(パーマっぽい仕上がりやハードなスタイルにおすすめ)

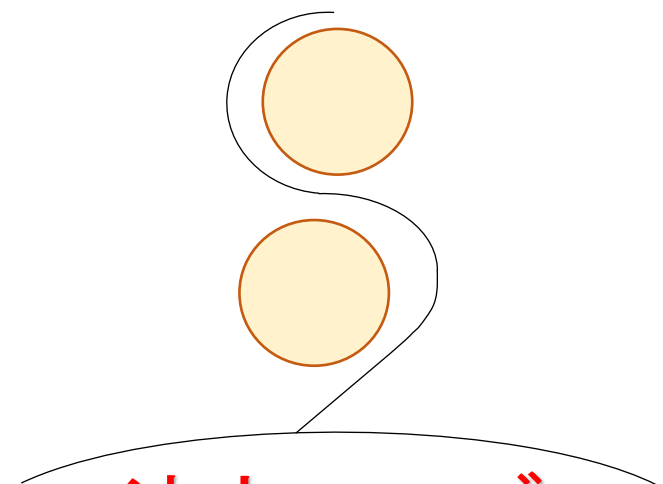
波ウェーブ (フロントの立ち上げや外国人のクセ毛風に仕上がります)



強カール(D)



スパイラル(E)



波ウェーブ(F)

こんな感じのスタイルをコテで作る☆

